

(別添)

2019年3月19日

N I T E ( ナ イ ト )

独立行政法人製品評価技術基盤機構

法人番号 9011005001123

製品安全センター大阪本部

# News Release

## 春本番、自転車の思わぬ事故に注意！ ～安全のために知っておきたいポイント～ ～近畿2府4県における事故の防止～

### 1. 事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、自転車の事故は、近畿地方2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2013年度から2017年度までの5年間に合計83件ありました。

#### (1) 製品別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生件数」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生件数<sup>※2</sup> (単位:件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2013年度	0 (0)	3 (2)	12 (8)	5 (3)	0 (0)	2 (1)	22 (14)
	2014年度	1 (0)	5 (6)	10 (7)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	22 (19)
	2015年度	0 (0)	2 (1)	6 (4)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	11 (7)
	2016年度	0 (0)	1 (1)	6 (3)	4 (3)	0 (0)	1 (1)	12 (8)
	2017年度	0 (0)	1 (1)	7 (6)	6 (4)	2 (1)	0 (0)	16 (12)
合計	事故件数	1	12	41	21	4	4	83
	被害者数	(0)	(11)	(28)	(15)	(3)	(3)	(60)

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。

## (2) 自転車種類別 事故発生状況

表 2 に「自転車種類別 府県別 事故発生件数」を示します。

表 2 自転車種類別 府県別 事故発生件数

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合 計
一般用自転車		1 ( 0 )	2 ( 1 )	5 ( 4 )	8 ( 8 )	0 ( 0 )	2 ( 2 )	18 ( 15 )
スポーツ車		0 ( 0 )	3 ( 3 )	6 ( 4 )	5 ( 4 )	0 ( 0 )	1 ( 1 )	15 ( 12 )
折りたたみ自転車		0 ( 0 )	2 ( 2 )	6 ( 5 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	8 ( 7 )
電動アシスト自転車		0 ( 0 )	5 ( 5 )	24 ( 15 )	8 ( 3 )	4 ( 3 )	1 ( 0 )	42 ( 26 )
合計	事故件数	1	12	41	21	4	4	83
	被害者数	( 0 )	( 11 )	( 28 )	( 15 )	( 3 )	( 3 )	( 60 )

## (3) 被害状況

表 3 に「府県別 被害状況」を示します。

表 3 府県別 被害状況<sup>※3</sup> (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合 計
	重 傷	0 ( 0 )	3 ( 3 )	14 ( 14 )	5 ( 5 )	1 ( 1 )	2 ( 2 )	25 ( 25 )
	軽 傷	0 ( 0 )	7 ( 8 )	14 ( 14 )	10 ( 10 )	2 ( 2 )	1 ( 1 )	34 ( 35 )
物的被害	拡大被害	0 ( 0 )	1 ( 0 )	5 ( 0 )	2 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	9 ( 0 )
	製品破損	1 ( 0 )	1 ( 0 )	8 ( 0 )	3 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )	14 ( 0 )
被害なし		0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )
合計	事故件数	1	12	41	21	4	4	83
	被害者数	( 0 )	( 11 )	( 28 )	( 15 )	( 3 )	( 3 )	( 60 )

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。表中において、製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

## 2. 事故事例の概要

- (1) 走行中に折りたたみ自転車のヒンジ部が開放し、けがを負った  
2014年8月（京都府、30歳代・男性、重傷）

### 【事故の内容】

折りたたみ自転車で走行中、ハンドルステム（ハンドルと前ホークをつなぐ支柱）が折りたたまれ、転倒し、負傷した。

### 【事故の原因】

当該製品の折りたたみヒンジ内の固定調整ボルトが緩んだ状態で乗車したために、走行時に折りたたみヒンジの固定部が開放し、転倒したものと考えられる。

なお、取扱説明書には、「ハンドルポストヒンジが緩んだまま運転しない」旨及び折りたたみヒンジ内の固定調整ボルトが緩んだ際の対応方法が記載されている。

- (2) 走行中に手足を巻き込まれて、けがを負った  
2017年5月（大阪府、女児、軽傷）

### 【事故の内容】

自転車で走行中、自転車用幼児座席に乗せていた幼児が車輪に足を巻き込まれて軽傷を負った。

### 【事故の原因】

自転車用幼児座席を装着した自転車にドレスガードが装着されていなかったため、幼児が足を前に突き出した際に足が車輪に巻き込まれたものと考えられる。

なお、取扱説明書には、足の巻き込み防止のために必ずドレスガードと併用する旨の警告表示が記載されている。

## 3. 自転車事故の実験映像について

自転車事故の再現実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

### （本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

担当者：リスク評価広報課 柿原、佐藤、向井

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617